

茨城県鹿島港沖の洋上風力発電所建設について

SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー」）は、茨城県神栖市で洋上風力発電事業を行う小松崎グループの株式会社ウィンド・パワー・エナジー（本社：茨城県神栖市、代表取締役社長：小松崎 衛、以下「ウィンド・パワー・エナジー」）が計画を進めている「茨城県鹿島港沖大規模洋上風力発電所」事業に対しての出資を完了し、共同事業に参画します。本風力発電所はウィンド・パワー・エナジーを特別目的会社（SPC）として今後建設および運営を行ってまいります。

「茨城県鹿島港沖大規模洋上風力発電所」は、茨城県神栖市の鹿島港沖合で、第1期計画として1基あたり5,000kWの大型風力発電機を約20基設置します。出力規模はアジアでも最大規模の約10万kW（約100MW）を予定する国内初の商業用大規模洋上風力発電事業で、年間予想発電量は約2億1,900万kWh/年を見込みます。

ウィンド・パワー・エナジー、小松崎グループ、およびSB エナジーは今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、風力発電所をはじめとする自然エネルギー発電所の建設および運営を推進します。

■ 「茨城県鹿島港沖大規模洋上風力発電所」の概要

所在地	茨城県神栖市鹿島港沖合
出力規模	約10万kW（約100MW）：5,000kW×約20基
年間予想発電量（初年度）	約2億1,900万kWh/年 一般家庭約6万830世帯分の年間電力消費量に相当 ※1世帯当たり3600kWh/年で算出
株式会社ウィンド・パワー・エナジーへの出資構成	小松崎グループ：50.1% SB エナジー株式会社：49.9%

■ 「茨城県鹿島港沖大規模洋上風力発電所」完成イメージ図



- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに掲載されている会社名および製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。